

## ○変動型最低制限価格の算出例

入札案件：〇〇業務委託(公告、指名通知等で「変動型最低制限価格を設定する」と明記します)

予定価格：10,000,000 円

### 【入札参加者が5者以上の場合】

A者からH者の8者が以下のように応札した場合

1	A者	6,300,000 円
2	B者	7,900,000 円
3	C者	8,900,000 円
4	D者	9,800,000 円
5	E者	9,900,000 円
6	F者	9,990,000 円
7	G者	10,000,000 円
8	H者	11,000,000 円

## 計算手順

【手順1】 予定価格の**3分の2**の額を求める

$$10,000,000 \text{ 円} \times \frac{2}{3} = 6,666,667 \text{ 円} \text{ (1円未満の端数があった場合は切り上げ)}$$

【手順2】 A者とH者を有効札(※)から除く

有効札(※)…予定価格の3分の2の額以上、かつ予定価格以下で入札をした札

【手順3】 平均額を算出

※A者、H者を除いた有効札(B者～G者)の合計額を、業者数6で割る

$$56,490,000 \text{ 円} \div 6 \text{ 者} = 9,415,000 \text{ 円} \text{ (1円未満の端数があった場合は切捨て)}$$

【手順4】 有効札の平均額の**100分の80**の額を求める

※【手順3】で求めた平均額に**80/100**を乗ずる

$$9,415,000 \text{ 円} \times \frac{80}{100} = 7,532,000 \text{ 円} \text{ (1円未満の端数があった場合は切り上げ)}$$

【手順5】 最低制限価格を決定する

※【手順1】と【手順4】で求めた額を比較して高い方を最低制限価格とする

$$7,532,000 \text{ 円} > 6,666,667 \text{ 円}$$

↑

**7,532,000 円**が「最低制限価格」となる。

## 【結果】

予定価格 10,000,000 円以下で、かつ**最低制限価格 7,532,000 円以上**の範囲内での最低価格入札者は2のB者となり、B者が 7,900,000 円で当該業務委託を落札となる。

※ただし、春日部市の場合は基本的に**事後審査型一般競争入札**を実施しているため、この時点では落札者ではなく**落札候補者**となり、必要な書類を提出していただき審査を経て問題が無ければ**落札者**となります

1	A者	6,300,000 円	失格(予定価格の3分の2未満)
—	—	-----	(最低制限価格:7,532,000 円)
—	B者	7,900,000 円	落札(落札候補者)
3	C者	8,900,000 円	
4	D者	9,800,000 円	
5	E者	9,900,000 円	
6	F者	9,990,000 円	
7	G者	10,000,000 円	
—	—	-----	(予定価格:10,000,000 円)
8	H者	11,000,000 円	予定価格超過

## 【入札参加者が5者未満の場合】

A者からD者の4者が以下のように応札した場合

1	A者	6,000,000 円
2	B者	8,250,000 円
3	C者	9,950,000 円
4	D者	10,000,000 円

## 計算手順

入札参加者が5者未満であるため、有効札の平均額にかかわらず、**予定価格の2/3の額**が「最低制限価格」となる。

【手順1】 予定価格の**2/3**の額を求める

$$10,000,000 \text{ 円} \times \frac{2}{3} = 6,666,667 \text{ 円} \text{ (1 円未満の端数があった場合は切り上げ)}$$

## 【結果】

予定価格 10,000,000 円以下で、かつ最低制限価格 6,666,667 円以上の範囲内での最低価格入札者は2のB者となり、B者が8,250,000 円で当該業務委託を落札となる。

※ただし、春日部市の場合は基本的に**事後審査型一般競争入札**を実施しているため、この時点では落札者ではなく**落札候補者**となり、必要な書類を提出していただき審査を経て問題が無ければ**落札者**となります

1	A者	6,000,000 円	失格 (最低制限価格未満のため)
—	—	—	(最低制限価格: 6,666,667 円)
2	B者	8,250,000 円	落札 (落札候補者)
3	C者	9,950,000 円	
4	D者	10,000,000 円	